

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務



幸田町消防署

消防整備基本 計画案示される

11月24日 協議会開催

平成24年度以降の10カ年消防整備基本計画を策定し、町民が安心して暮らせる、まちづくりの計画が示された。

Q 基本計画の立案のすすめ方と考え方は。

A 消防本部で立案し、町総合計画、マスタープランなど上位計画に基づき作成。

Q 職員採用計画と10年後の充足率※は。

A 現状の48人(51.1%)を10年間で61人(64.9%)に増員する。

Q 消防団員の入団を促進する方策は。

A 地元と協力し現況説明会や情報交換会などさまざまな活動を展開する。

Q 新たな出張所などの建設計画は。

A 人口4万人を超えると分署または出張所をもう1つ建設しなければならぬため、人口の増減状況をみながら考えていく。

※充足率とは
目標とされる人員数に対する実人員数の割合

防災のまちづくり など視察



養生市視察風景

10月17・18・19日、滋賀県湖南市、兵庫県豊岡市・養生市・神戸市を視察した。

湖南市

事業仕分け

人口5万5200人のベットタウン。年々大幅な財源不足が見込まれる中、平成19年に42事業を実施し、うち7事業を不要とし、財源確保をすすめていた。

豊岡市

防災まちづくり

平成16年10月、日本列島を縦断した台風23号の豪雨により、円山川堤防が決壊し、甚大な被害に見舞われた。水害の恐ろしさを経験した市民の防災意識は非常に高

養生市

ユニバーサル社会づくり

若者が減り介護などの援助を必要とする高齢者が増加する中、みんなで支え合う協働、共助の地域社会づくりの事業が新しい試みの協議会ですすめられていた。

神戸市

阪神大震災記念「人と防災未来センター」

地震に対する心構えは、冷静な判断力と対応で救われる命があること、教育・訓練の必要性を再確認できる施設であった。

相見駅周辺 健康的な商業地域の創出

産業建設

11月2日協議会開催

平成24年3月に開業する相見駅の周辺商業地域約6・4 haの地区計画を定める。

これにより、良好で健康的な市街地環境の創出をめざす。

Q どのような計画か。

A 商業地域内の次に掲げる建物を制限し、色彩も周辺環境と調和させる。
・マージャン屋、パチンコ屋など
・キャバレー、ナイトクラブ、ディスコなど
・個室付浴場など

産業活性化支援 事業の実施状況

研究・開発や新規事業に対する補助制度。
農林業で4件、商工業で3件の補助を実施。

Q 筆柿甘渋判定機は個々で利用のための開発か。

A 個々の利用のため。

Q スポーツウエア製造販売事業創業者の効果は。

A メーカー品と同等の素材で、安価に提供。

Q 支援事業のPRを。

A 広報や会議の場などで周知。さらに努力する。



相見駅前ケヤキ並木

自然エネルギー

活用など視察



梶原町水力発電

10月24・25・26日、高知県南国市・梶原町・須崎市・香川県高松市を視察した。

南国市 道の駅 南国風長里

からくり時計台、ちびっこ広場、スポットガーデン、2階にレストランのある生産物直売施設など特徴ある道の駅。長時間の休憩や、リピーター客へ配慮した事業をすすめていた。

梶原町

自然エネルギーの活用

山に囲まれた地形を生かし、風力、太陽光、水力、地熱を活用したまちづくりを推進。環境モデル都市に選定され、エネルギー自給率100%をめざしている。

須崎市

「通り名」で道案内

市街地の主要な通りに通称名を付け、道案内地図を

高松市

平和公園内の合葬式墓地

お墓の維持管理の困難な人のために、新しい形の墓地を整備。お骨は地下納骨壇に埋蔵され、市が管理、運用していた。

使った買物や観光に活用。商工会、J A、事業者などが協力し、市全体でまちおこしをすすめていた。

文教福祉

11月18日協議会開催

保護者の就労状況や保育のニーズを把握し、土曜日の「終日保育」、日曜日、祝日の「休日保育」を、平成24年4月から実施する。

Q 土曜日保育の主な見直しは。

A 保育時間を全園で、午後0時30分までとする。終日保育は、菱池保育園で午前7時30分から午後6時までとし、保育料は追加しない。

Q 休日保育の実施園は。

A 菱池保育園で午前7時30分から午後6時まで。保育料は、一人日額3歳未満児2500円、3歳以上児1500円。

Q 病児・病後児保育は。

A 今後の検討課題とする。

休日保育など
4月から実施

南^{なな}昌^{しょう}市^し第一^{だい}中^{ちゅう}学^{がく}生^{せい}と^と交^{こう}流^{りゅう}

海外派遣事業で親善交流をおこなっている中国の南昌市第一中学生12人を幸田中学校で12月19日から21日まで受け入れる。

Q ホームステイはどこで。

A 幸田中学校生徒の家庭。

Q 昨年度の交流生徒とは。

A 再会の時間を設けたい。



音楽の授業で交流（幸田中学校）

総合福祉施設
など視察

10月12・13日、滋賀県米原市、京都府宇治市、奈良県奈良市を視察した。

米原市

いぶき認定こども園

伊吹山の麓、自然豊かな環境にある認定こども園である。いぶき保育園の園児数が減少したため、適正な集団規模を構成するための幼保連携型施設である。

保育園児は自園調理の給食を、幼稚園児は学校給食を利用するなどの複雑さなどは否めないが、幼保の交流など、たくましく楽しく活動をしていた。

宇治市

宇治市歴史資料館

常設の展示室はなく、企画展や特別展を開催する資料館である。

奈良市

奈良市総合福祉センター

広大な敷地にバリアフリーも完備し、福祉を重点施策にしている奈良市の名に恥じない施設である。

年間利用者は17万3千人であり、それを指定管理者である奈良市社会福祉協議会が運営している。

活動内容であるソフト面も成熟し、人々が心でつながるハート面もすばらしく、ふれあいの場でもある。



奈良市総合福祉センター

災害時要支援者 台帳の整備を

防災対策

11月5日協議会開催

東日本大震災を教訓に、幸田町防災計画の修正・見直しを協議。

Q 各種団体などの意見聴取の主な内容は。

A 町の地質、被害予測、広範囲に液化化する恐れなどの報告が主である。

Q 町防災計画の修正・見直しは、県防災計画のコピーでいいのか。

A 県防災計画に合わせるが、町独自の修正、追加もある。2月ごろには方向性を示したい。

Q 地区避難所に無線などの通信手段の整備を。

A 地区避難所には電話があるが、無線などの配置

も計画する。

Q 災害時応援協定で企業JA、コンビニなどとの協定の拡充を。

A すでに協定している所もあるが、さらに拡充していく。

Q 地区防災訓練で、地元が8万円負担した。全額町で負担を。

A 炊出し備品などは把握する。食糧備蓄品で賞味期限の近いものは支給していく。

Q 災害時要支援者の把握が不十分。本人の手上げ方式で登録台帳の整備を。

A 対象者2884人、登録者86人で3%弱。本人の同意方式を検討し、登録者を増やすよう働きかける。



避難場所の市場公民館

総合開発

開業まぢかの 相見駅など視察

11月1日 現地視察

相見駅、自由通路および幸田駅前区画整理の現状の視察をおこなった。

相見駅および自由通路

- ・ プラットホーム2面3線完成。
- ・ 駅舎、自由通路壁面完成。
- ・ エレベーター4基、エスカレーター2基ほぼ完成。
- ・ 窓枠、ガラス取り付け、天井工事、床工事、電気工事などが残っている。
- ・ 開業は本年3月17日。

幸田駅前区画整理

「幸田の顔」となる土地の全貌が現れてきた。今後は、商業集積区域と高度利用区域により、地域居住者と駅利用者の利便性の向上を



相見駅のプラットホーム

図っていく。

現在の進捗状況

・ 共同店舗は今春オープン予定。

・ 建物解体工事は70%。

駅前から国道248号まで都市計画道路拡幅予定。